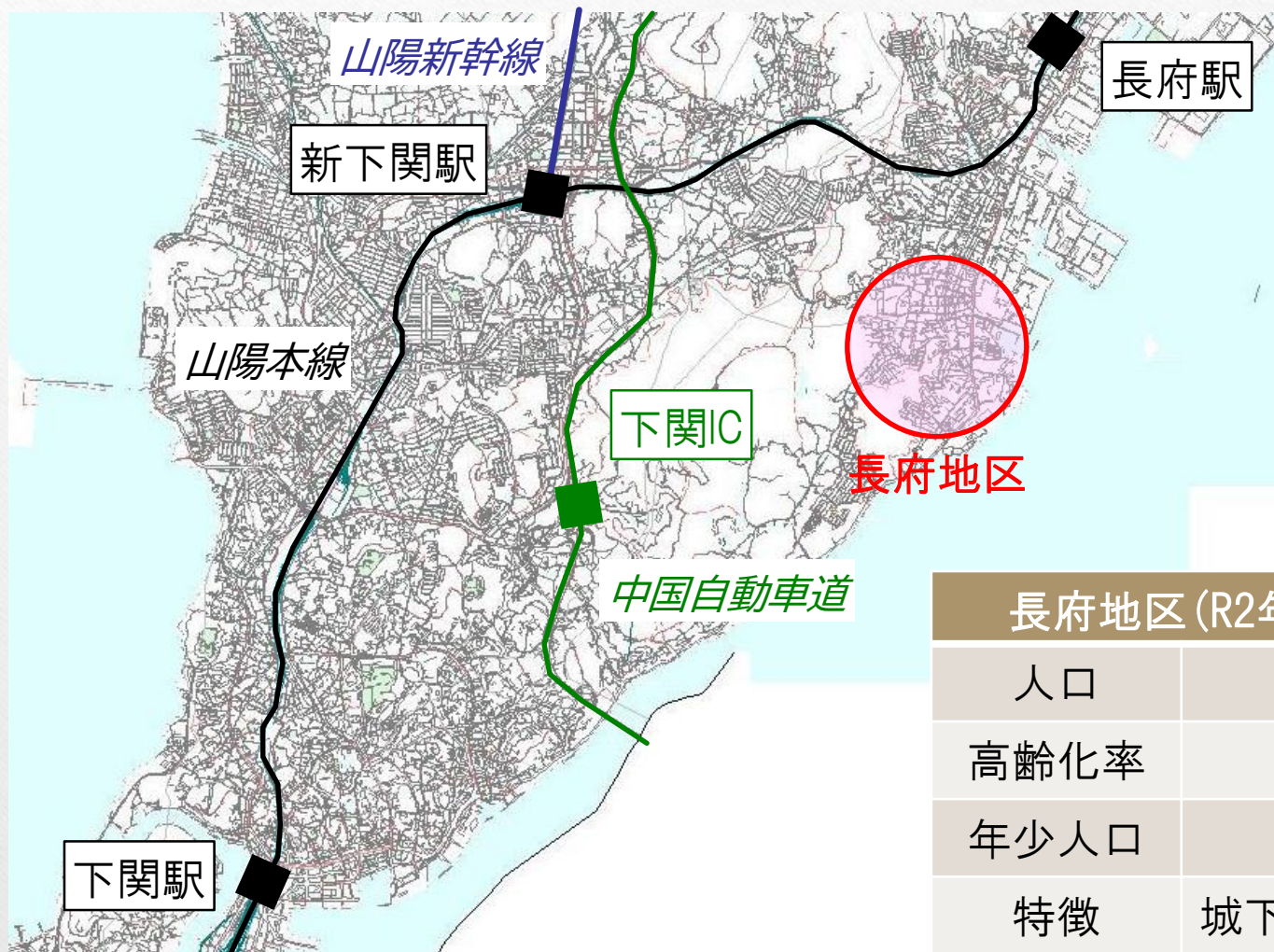


長府地区の位置関係



| 長府地区 (R2年4月末時点) | |
|-----------------|----------|
| 人口 | 28,308人 |
| 高齢化率 | 35.0% |
| 年少人口 | 11.4% |
| 特徴 | 城下町のまちなみ |

歴史博物館と旧長府博物館の位置関係



アクセス

公共交通機関

- ・ JR下関駅からバスで25分
- ・ JR新下関駅からバスで20分
- ・ JR長府駅からバスで10分
- ・ バス停城下町長府
徒歩10分

自動車

- ・ 下関ICから
下関市街経由で20分
長府経由で15分

種類

施設の概要

本館

昭和8年(1933)竣工、RC造・平屋建て、約315m²

別館

昭和31年(1956)竣工[増築]、RC造・平屋建て、約150m²

収蔵庫

昭和54年(1979)竣工[増築]、RC造・平屋建て、約60m²



博物館の歩み

昭和8年(1933)

長門尊攘堂

昭和21年(1946)

財団法人先賢記念長府博物館

昭和25年(1950)

財団法人長府博物館

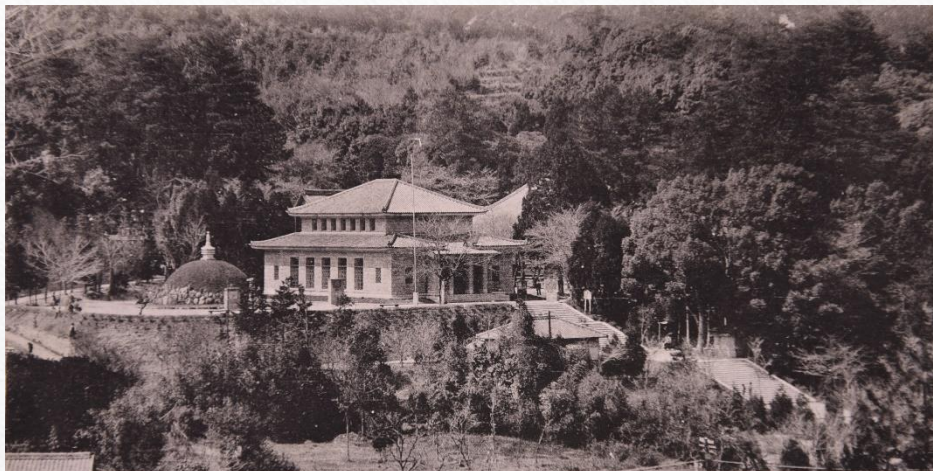
昭和55年(1980)

下関市立長府博物館

平成27年(2015)

5月に閉館。

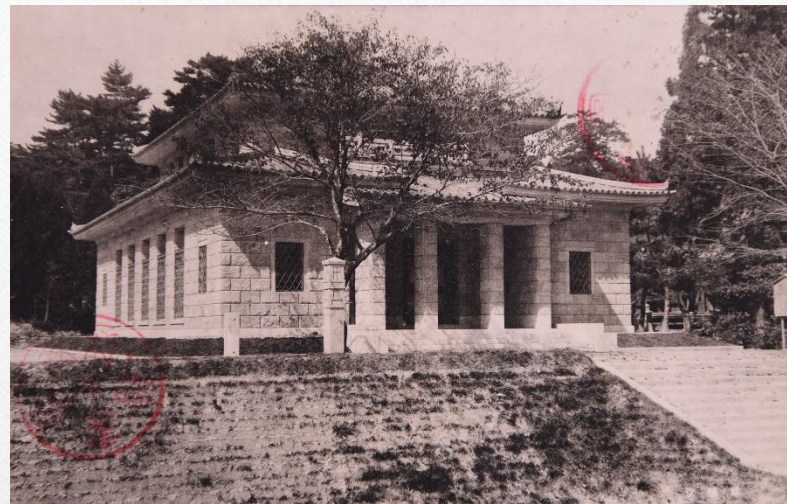
昭和13年頃の長門尊攘堂[現在の旧長府博物館]



設創を之に都京てし體を志遺の其郎三彌川品人門をしりざる果てしむせ設建の陰松田吉ともてぎ繼け承をしりざれる果もしりも圖意の設建のもる斯に地各てび選を所要國全に更。るらせの公元秀利毛祖壽は寺山功地此也堂攘尊門長。のもるせ設建の一彌桂しり蒙を願恩に筒子川品より素はしせ來往の士志年當句六事ふ給し居游卿五め始卿美宣條三 前新維は内境てに寺提菩りた地の祥發學義天回謂所しめ決を兵擧。に爲の一統論藩の作音杉高。織組の隊兵精

(一其)景全廟攘堂

〈廣河首部令司憲要錄下 日十月四年三十和曆〉



博物館本館



博物館前の玄関

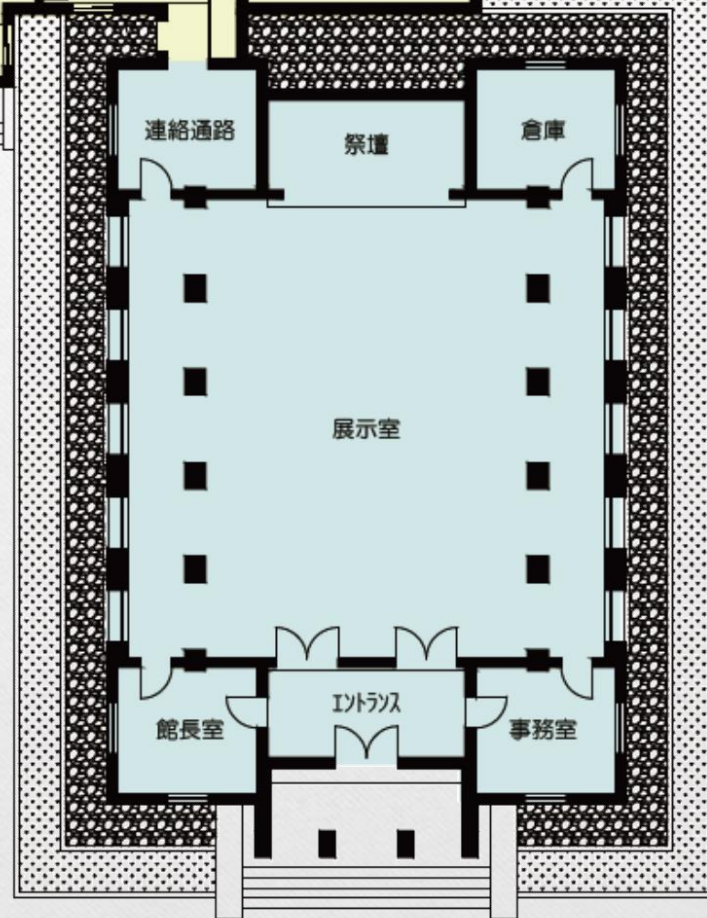
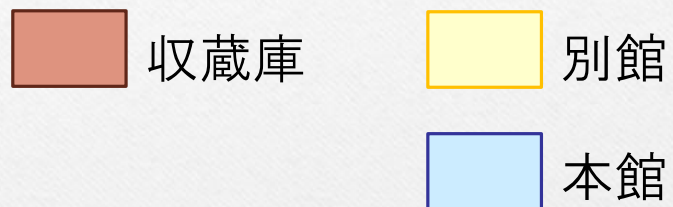
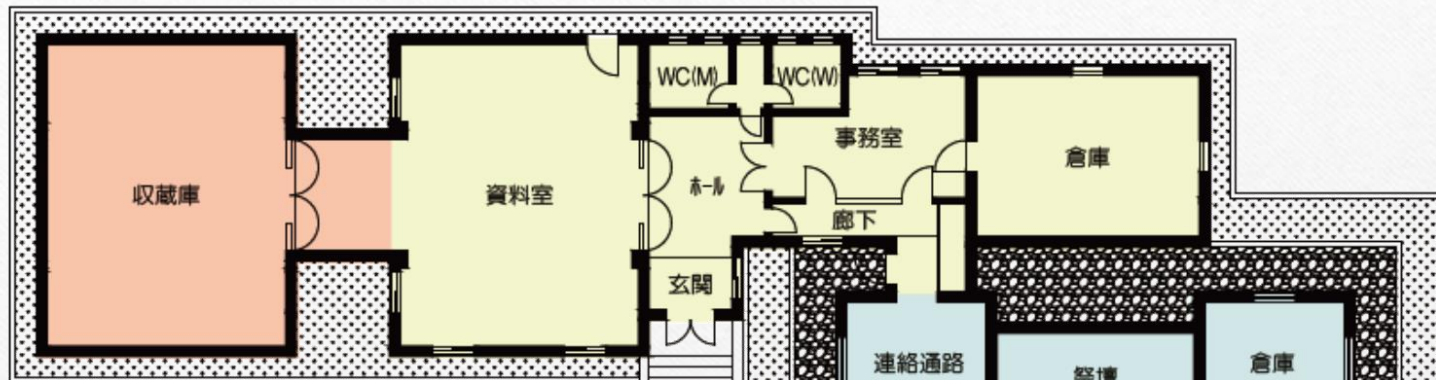
昭和8年10月20日竣工

設計者＝潮見長彦(しおみ おさひこ)

※旧日本メソヂスト下関教会会堂[国登録有形文化財]の設計者でもある。

東洋式鉄筋コンクリート造、外壁は平野石を使用、屋根は瓦ぶき。

高い天井、壁面に杉板・和紙の上に西陣織を貼り、床は桜材を使用。

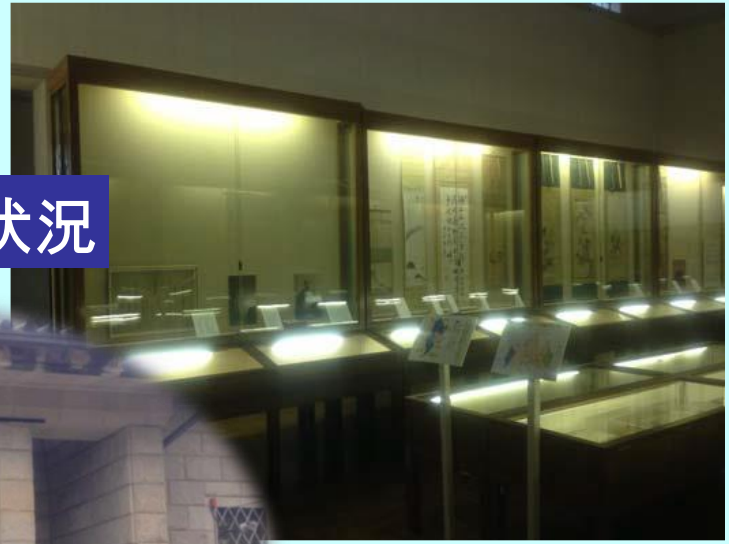


用途区分のイメージ

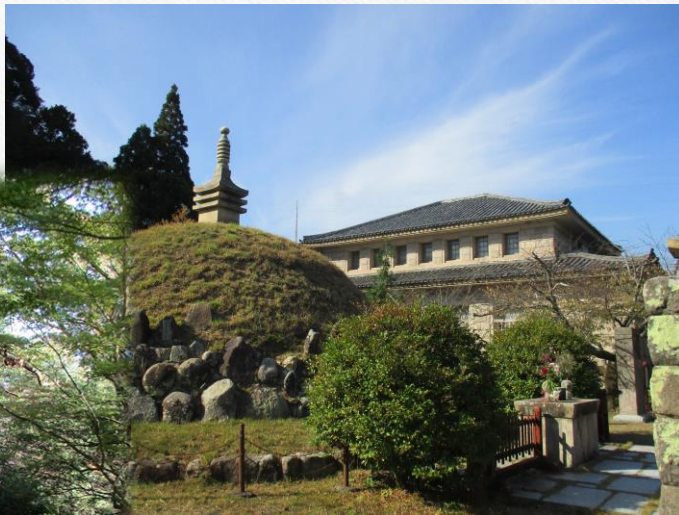
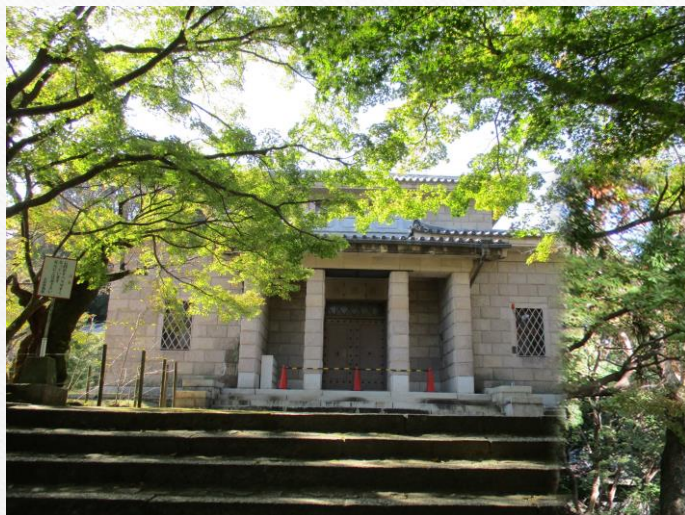
[本館・別館:民間事業者]

[収蔵庫:下関市(歴史博物館)]

閉館前の状況



旧長府博物館の現況 (外部)



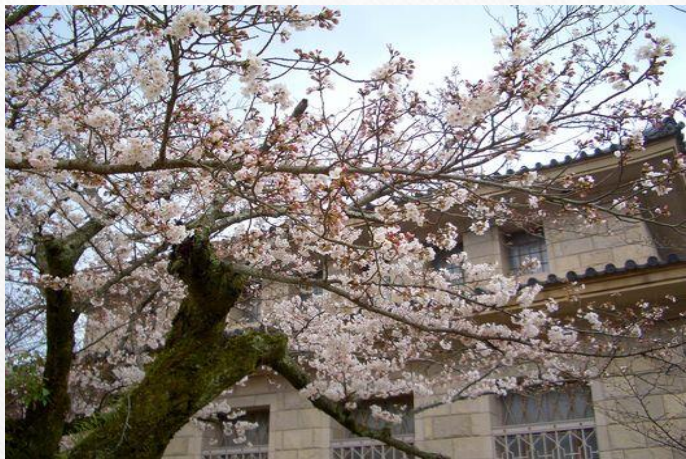
旧長府博物館の現況（内部）



改修等を要するもの
耐震診断、耐震改修
地盤沈下の調査、改良
空調・電気設備の設置
防火設備の設置
バリアフリー改修
収蔵庫の改修など



博物館の敷地内



春《桜》



秋《紅葉》



冬《雪》



夏《緑》

四季を感じられ、市民や観光客が散策するなど憩いの空間として認知されている。

《博物館と敷地の一体整備》

敷地内の環境整備(緑地公園など)により、幅広い年齢層の方々が訪れる可能性

周辺施設の状況



功山寺



長府毛利邸



長府庭園



下関市立美術館



下関市立歴史博物館

例年の来訪者数

| | |
|-------|-------|
| 功山寺 | 約10万人 |
| 長府毛利邸 | 約7万人 |
| 長府庭園 | 約7万人 |
| 美術館 | 約5万人 |
| 歴史博物館 | 約3万人 |